

国語科 学習指導案

松原市立松原北小学校

1. 日 時 令和7年12月2日(火)第5時限 13:40~14:25

2. 場 所 第1学年 教室

3. 学年・組 第1学年

4. 単元名 どんなおはなし?—写真をよく見て話してみよう— (使用図書:『遊ぼう!写真はことば』

一般社団法人力カメラ映像機器工業会)

5. 単元の目標

【知識及び技能】

- 写真に写っていることや、写真から考えられることを話したり聞いたりして、語彙を豊かにすることができる。(1)才語彙

【思考力、判断力、表現力】

- 人物や背景に着目して、何をしたのか、どうしてしたのかといった人物の行動や動機を具体的に想像し、自分の考えを表現することができる。C 読むこと 工精査・解釈(文学的な文章)

【学びに向かう力、人間性等】

- 言葉が持つよさ、特に視点を持って言葉で共有するよさを感じ、思いや考えを伝え合おうとする。

6. 単元で取り上げる言語活動

- 二枚の写真を見比べ、変化したことやどのようにしてその変化が起きたのか想像して伝え合う。

- 人物の様子(表情や行動)に着目して写真を見て、人物の気持ちや理由・動機について考えたことを伝え合う。

- 人物の様子だけでなく、周りの様子や背景にも着目して、どんな出来事がありそうか考えたことを伝え合う。

7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
写真に写っていることや、写真から考えられることを話したり聞いたりして、語彙を豊かにしている。	人物や背景に着目して、何をしたのか、どうしてしたのかといった人物の行動や動機を具体的に想像し伝え合っている。	言葉が持つよさ、特に視点を持って言葉で共有するよさを感じ、思いや考えを伝え合おうとしている。

8. 指導にあたって

写真を用いた言語活動を設定し、子どもたちが主体的に話したくなる・聞きたくなる取り組みを行っている。身近なスナップショットの他、いくつかの写真は、『遊ぼう!写真はことば』に掲載されている活動や写真を参考に選定した。表情や視線に着目し、同化して考えやすいよう同年代の人物が被写体となっているものを選定した。周辺情報にも意識を向けていくよう、徐々に人物から引いた写真を提示するようにした。

身の回りの様子や自分の気持ち、出来事など、捉え方の感覚を磨き、子どもたちの日常で活かされるよう、子どもたち

と写真を見て話す視点を共有して取り組みを進めた。だれが、何をしている、何を見ている、どんな表情といった人物に関わる視点、いつ、どこなど周辺情報に関わる視点で情報を確かめた後、どんなことを考えているか、どうしてこんな行動をしているのかなど想像を膨らませ、豊かに表現しようとする態度と語彙力を育みたい。

9. 指導と評価の計画(全9時間) ○…記録に残す評価 ○…指導に生かす評価

次	時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
1	1 2	二枚の写真を比べて、違いや変化の理由を想像して伝え合う。 ①お風呂に浮かんだおもちゃと入浴する人物／お風呂から流れ出たおもちゃと入浴する人物 ②演奏する人物(帽子あり)／演奏する人物(帽子なし)	○ ◎			【知・技】写真に写っていることや、写真から考えられることを話したり聞いたりしている。(ペアの話し合いの発言、ワークシート)
2	3 4 5 6 7	人物の様子(表情や行動)に着目して、人物の気持ちや理由・動機についても想像し、伝え合う。 ③アイスを食べる人物 ④かきごおりを食べる人物 ⑤ソファーにすわる人物 ⑥はなびをする人物 ⑦りょうりをする人物	○ ○ ◎ ○ ○	○ ○ ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○ ○	【図書館活用】 絵の本広場で様々な写真や絵で構成された図書に触れて親しむ。 【思判表】人物に着目して、何をしたのか、なぜしたのかといった人物の行動や動機を少しでも想像している。(ペアの話し合いの発言、ワークシート)
3	8 9	人物の様子だけでなく、人物の周りの様子についても着目して、どんな出来事がありそうかについて想像し、伝え合う。 ⑧パンダの乗り物に乗る人物 ⑨バスに乗っている人物(本時) ・だれ、何をしている、何を見ている、どんな表情といった人物に関わる視点で着目する。 ・いつ、どこなど周辺情報に関わる視点で着目する。 ・どんなことを考えているか、どうしてこんな行動をしているのか想像して伝え合う。 ・写真に写っている前後も含めてどんなことがあったのか、どんなことがありそうなのか、おはなしとして話してみる。	○ ○	◎ ○	○ ○	【思判表】人物や背景に着目して、何をしたのか、なぜしたのかといった人物の行動や動機を具体的に想像している。(班の話し合いの発言、ワークシート) 【主】言葉が持つよさ、特に視点を持って言葉で共有するよさを感じ、思いや考えを伝え合おうとしている。(行動観察、ワークシート)

10. 本時の展開(9/9 時間目)

(1) 本時の目標

人物や背景に着目して、何をしたのか、なぜしたのかといった人物の行動や動機を具体的に想像し、自分の考えを表現することができる。【思・判・表】

(2) 本時の評価規準

人物の様子だけでなく、周りの様子についても着目して、どんな出来事がありそうかについて想像し、伝え合っている。

(3) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5	○前時を振り返る	○前時で使った写真を見て、どんな表情・どんな気持ちだったかを振り返させる。 【発表】 どんな気持ちか かんがえよう！	
10	○写真を見て、分かることを話し合う。 ① 『どこで』を見つけて、全体で交流をする 『どこで』バスの中・電車 ② 『だれが・なにをしているか』を見つけて、ペアで話し合う。どこを見て分かったのか写真を見て○をつける。 →全体で交流をする 『だれ』きょうだい・友だち・家族 『なにをしているか』お話ししている・なんかをしている	「この写真の場所は、どこでしょう。」 「この二人は、どんな二人なのかな。また、なにをしていますか。分かるところに○をつけましょう。」 ○人物を詳しく見ているときに表情にも注目させる。	【知・技】 写真から考えられることを書いたり話したりする。 (ワークシート) 【主】 思いや考えを伝え合おうとしている。 (ペア交流・全体交流での行動観察)
10	○写真の二人がどんな気持ちなのか考え、全体で交流する。 ・たのしい・わくわくしている・おこっている	「写真の二人は、どんな気持ちでしょう。」 ○気持ちを考えにくい児童には、『いまどんなきもち』の中から似ている表情を探して書かせる。 ○表情からも読み取ることができるよう声かけする。 ○自分の考えと友だちの考えとを比べながら聞くように声かけする。	【思・判・表】 人物や背景に着目して、どんな気持ちなのか想像している。 (ワークシート)

13	○どうしてそう思ったのか、理由を考え、全体で交流する。	「どうしてこんな気持ちになったのでしょうか。」 ○写真の人物と同じポーズをさせて、動機を考えさせる。	【思・判・表】 人物や背景に着目して、人物の動機を具体的に想像している。 (ワークシート)
5	○写真の後にどんなことが起こるのかペアで話し合う。 →全体で交流する。		
2	○今の自分の気持ちを考えて表現する。		

(4) 本時における具体的な子どもの状況(※本時の評価規準に関わる場面において)

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
人物の様子や、周りの様子に着目して、どんな出来事がありそうかについて想像し、自分の考えを表現することができる。	人物の表情や周りの様子をたずねながら、『ことばのたからばこ』の中から気持ちに合う言葉を探して書かせる。また、理由もたずねながら書かせる。